

団体名 桃山学区防災ミーティング

団体概要

名古屋市緑区の桃山学区内に所在し、大地震等の災害への備えの必要性、高齢化による地域の活動力低下を踏まえ、地域の防災力強化、助け合いの仕組みづくりを行って地域の安全度を高めることをめざしています。

地域を連携の輪でつなぎ、防災についての話し合いや協働活動を積み重ねて、町内会を中心とした共助の防災活動の仕組みづくりを内容としています。

活動名：地域の連携協力による防災力の強化と助け合いの環境づくり

1

活動目標の達成度

目標	計画全体に対する達成度(5年計画の2年目)
① 地域防災の仕組みづくり	全体ミーティングを通じて地域の枠組意識を育成中 地域の仕組みを考える段階には至っていない 10%
② 地域防災計画づくり	モデル計画をベースにした話し合いを開始した段階 計画づくりの課題解決には踏み込めず 15%
③ 防災訓練の実施	安否確認訓練により地域の認知度が高まってきた 災害時の活動に向けた課題を抱えることになった 25%
④ 助け合いの仕組みづくり	活動の具体化が遅れている 防災訓練を含めた町内会活動の底上げが必要 0%



全体ミーティングの話し合いは、議論を深めるためにグループに分かれます

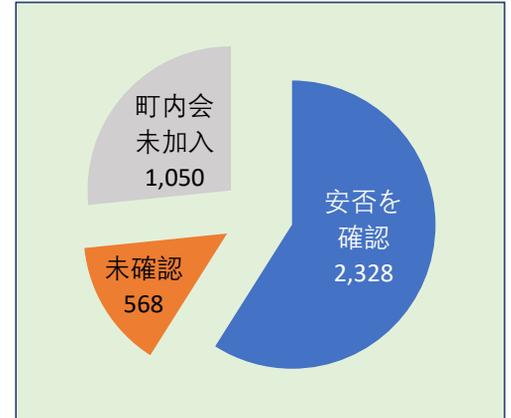


防災訓練は「防災拠点づくり」「全世帯安否確認」をテーマに全町内会が取り組みました



① 防災訓練(防災拠点づくり、全世帯安否確認)を行ったことで、地域の防災活動に対する関心を高めることができました。また、同時に行ったアンケートでは災害時活動支援の気持ちを持っておられる人が多くおられることが分かり、大きな力を得ることができました。

防災訓練参加数							
対象世帯数	確認世帯数		対象居住者数	確認居住者数		要支援者数	活動支援者
2,896	2,328	80%	9,744	6,436	66%	344	1,142



② 防災計画づくりは遅れていますが、全体ミーティングと町内会・個別ミーティングを繰り返し行ったことで地域内のコミュニケーションづくりが少しずつうまくいくようになって来ました。



19の町内会役員の皆さんとの個別ミーティングでは地域の状況や防災計画づくりに反映する意見の聞き取りをしています。

活動目標達成のために努力したこと

地域防災計画づくりの進め方は、町内会ごとの計画を作ってから地域の計画にまとめる手順を考えていましたが、防災訓練の反省等から、地域共通の防災計画づくりを先行させ、後日、町内会との整合を図る方法に改めることにしました。

時間はかかりましたが、これにより計画の全体像をモデルとして示すことが出来て、話し合いを深めることができるようになりました。

地域共通の防災計画づくりを進めるには学区内の19町内会が抱える様々な課題やニーズを大切にすることが分かりました。

町内会から出された意見要望

意見等	件数	%
安否確認が早くできるように 要援護者の支援は難度が高い	9	50%
町内会運営上の課題がある	6	33%
防災意識の盛り上げが必要	5	28%
活動支援者の確保が難しい	4	22%
情報連絡網の確立が必要	4	22%
防災拠点の整備を進めたい	3	17%
消火・救出救護活動が難しい	3	17%
参加18町内会 44名		

外国人居住者への対応も必要
マンションでは火災、エレベータ停止が心配
高齢化への対応が必要
災害時活動人員が不足する
団体内には事情を抱えた住人が多い
集合住宅の住人状況が把握できない
体験型の訓練等が不足している
古いRC建物の安全性に不安
防災組織が形骸化している

今年度の活動を通じて、話合いの大切さを実感しました。全体ミーティングと町内会の個別ミーティングを積み重ねて防災の仕組みづくりを進めて来ましたが、今後、本格化する地域防災計画や防災マニュアル作りを町内会や関係団体との話合いを重ねて進めて行こうと思います。

